



# 仲里間切蔵元跡

**指定名称** なかざとまぎりくらもとあと  
仲里間切蔵元跡  
(県指定史跡)

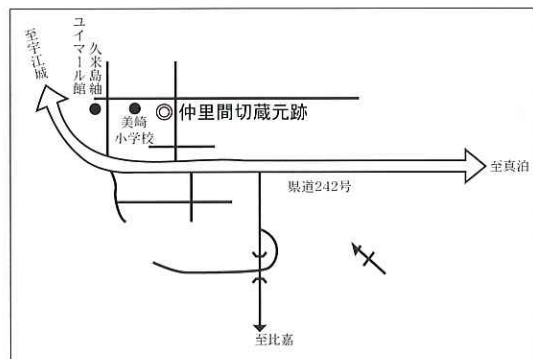
**所在地** 久米島町字真謝122

**指定年月日** 昭和31年2月22日

**所有者** 久米島町

琉球王朝時代、仲里間切の蔵元(役所)があったところで、敷地面積が532坪(1,755.6㎡)である。蔵元がいつ頃出来たかについては、文献記録がなく不明であるが、竹富の蔵元(1524年創建)と比較してそう遠くない時期だと思われる。

蔵元の建物は、創建以来、何度か改築されたようで、最後の建物は乾隆4年(1739)地頭代宇根親雲上絜賢の時に建てられたといわれ、瓦葺きの総檜材の堂々たる建物(54坪余)であった。



役場が大正13年(1924)真謝から比嘉に移転したときに、屋門と共に解体された。